

公演終了後、出演者との握手会があります!

こどもの心にひろがる愛と友情の物語

ミュージカル

# アルプスの少女ハイジ

2幕10場

セバスチャン 正木慎也

アルム 宮川智之

クララ 鎌田ひかり

ロッテンマイエル 中山麻理

ハイジ 小川麻琴

原作 ヨハンナ・スピリ

演出 源 紀

脚本 田辺 慶

プロデューサー/相羽 源之助

制作/深田 倫紀/川島 清和

制作/TS劇団東少

●音楽	●振付	●美術	●照明	●音響	●衣裳	●舞台監督
塩谷 翔	山本 教子・相羽 源氏	園 良昭	立川 直也	木谷 晶代	山田 いずみ	伊藤 勝昭

平成30年 **8月18日(土)** 14:00 開演  
(13:30開場)

※当日バックステージツアーを行います。参加希望者は右記川越市やまぶき会館へお問い合わせ下さい。(チケット購入先着100名様)

## 川越市やまぶき会館

全席指定 **2,500円(税込み)**

※3歳以上大人、子ども共同料金 ※2歳以下保護者膝上観覧は無料

●主催 (公財)川越市施設管理公社/有劇団東少  
●後援 川越市/川越市教育委員会

お問合せ ▶川越市やまぶき会館 ☎049-222-4678  
▶劇団東少 ☎03-6265-7070

チケット販売所 2018年5月20日(日) 9:00~

川越市やまぶき会館	☎049-222-4678
川越西文化会館	☎049-233-6711
川越南文化会館	☎049-248-4115
劇団東少	☎03-6265-7070

最寄のセブンイレブン(セブンチケット)でも御購入できます。

# こどもの心にひろがる愛と友情の物語

ミュージカル

## アルプスの少女ハイジ

### かいせつ

この作品の魅力は何といっても、「ハイジ」の生き方です。逆境にもめげず、どんな環境に置かれても対応できる素直さ。そして、純真で明るく自由奔放に生きているハイジを見ていると、つい引き込まれてしまうのです。

ハイジはいろんな人たちと出会います。頑固一徹なアルムじいさん、元気いっばいの牧童ペーター、生きるのに精いっぱいデーテおばさん、いつも人の輪と幸せを願う牧師、やさしい実業家のゼーゼマン、そこで働く家庭教師で猫ぎらいのロッテンマイエル、幽霊がらいでユーモアたっぷりの執事のセバスチャン、そして車椅子で生活するちよっぴり寂しそうなクララ、と多彩です。

この物語の一番の見どころは、ハイジが車椅子のクララを、何とか自分の足で歩かせようとする場面です。ハイジの気持ちがクララに伝わり、クララは歩けるようになるのです。その二人の愛と友情が舞台いっばいに広がります。

子どもたちに愛と友情の大切さ、ハイジのように「生きているって素晴らしい」と感じてほしい作品です。また、芝居と歌と踊りで構成されたミュージカルなので、子どもから大人まで楽しめる作品となっております。

### あらすじ

ハイジはデーテおばさんに連れられてアルプスにやって来ました。アルムじいさんに預けられたハイジは、部屋の隅にベッドをつくってもらいました。ベッドから見える空には手のとどきそうなたくさんの星、ハイジはうれしくてたまりません。

ハイジは山羊飼いのペーターとすっかり仲良くなり、アルムじいさんとも心を通わすようになりました。そして、自然いっばいのアルプスを大好きになったハイジ。ところが、何ヶ月かたち、デーテおばさんがハイジをフランクフルトのゼーゼマン家に連れていくためにやって来ました。別れることになったハイジとアルムじいさんは、悲しくて胸がはりさけそうでした。

フランクフルトのゼーゼマン家に着いたハイジは、足の不自由なクララや家庭教師のロッテンマイエル、執事のセバスチャンと生活することになりました。都会の生活になれないハイジは失敗の連続で、怖いロッテンマイエルさんにおこられる毎日でした。一方、クララは明るいハイジが大好きになり、ハイジと過ごす毎日は楽しくて仕方ありません。

ところがある日、夜中に幽霊が出るとうわさがたち、正体を確かめると、幽霊だと思っていたのはハイジでした。ハイジはアルプスに帰りたくて、寝ぼけてひとりで歩き回っていたのです。ゼーゼマンはハイジの気持ちを察して、ハイジをアルプスに帰らせることにし、クララも一緒にアルプスに行かせることにしました。

ふたたび山小屋に帰ってきたハイジを、アルムじいさんはしっかりと抱きしめました。そして、ハイジは「クララが自分の足で立ってほしい」とクララの歩く練習を手伝います。歩くことをあきらめていたクララですが、ハイジに励まされて奇跡的に立ち、歩けるようになったのです。

### 劇団東少の紹介

劇団東少は、1949年創立以来公演活動を続けて半世紀を越えた歴史ある児童演劇の専門劇団です。公演地は全国的であり、公演日数も年間100日を越え15万人以上の動員をしています。特に東京公演では、1985年からスタートした東京日本橋の三越劇場で夏・冬のファミリー劇場は、定期公演になり、一般公演の少ない児童演劇界でホール専用の質の高いプランニングが、美しいステージを創り出しています。又、出演者は数百名のオーディションの中から選ばれた、演技・ダンス・歌に実力ある俳優とベテラン俳優が参加し、大人も子どもも感動できる作品を制作し、公演しています。

劇団東少の作品レパートリーは、心の優しさを描き、涙と笑いと感動のできる本格的な創作ファミリーミュージカルとして好評を博しております。

ハイジ 小川麻琴



1987年10月29日生まれ。新潟県柏崎市出身。現在「かわざき大使」を務める。2001年モーニング娘。5期メンバーとして加入。2006年に卒業後、ニュージーランドへ語学留学。帰国後は舞台を中心に、TV、ラジオ等様々な分野で活動。東洋大学で講師やスマートフォンアプリのプロデュースも務める。2013年TOEIC800点取得し「小川麻琴のドラマチック・イングリッシュ」を出版。2015年フリー転身後も舞台を中心に活躍中。

ロッテンマイエル 中山麻理



東京都生まれ。主な出演作品は、テレビ「サインはV」「無影燈」「絹の家」「おせん」「氷紋」「青春とはなんだ」「傷だらけの天使」。映画「華麗なる一族」「炎の肖像」「限りなく透明に近いブルー」「新・仁義の墓場」「IZO」。舞台「不信のとき」「第七天国」「明治百年」「じゅんさい物語」「真夏の世の夢」「プロミセス・プロミセス」「あかんたれ」、東少では「シンデレラ」「白雪姫」がある。

セバスチャン 正木慎也



90年にアイドルグループ「忍者」として「お祭り忍者」でリードボーカルとしてCDデビュー。史上最短記録のデビュー4ヶ月で紅白出場を果たす他、各音楽新人賞を総なめにする。現在は舞台を中心として活動する傍ら、ソロでのライブ活動や元光GENJIの佐藤寛之と音楽ユニット「DUO」を結成する等、音楽活動も行っている。最近ではバラエティー番組に出演する等、多方面で活動している。



■協力／町田英子事務所

Am-bitioN

山本教子バレエスタジオ

G-スタジオ